

会報 第30号

2019年8月



一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田
会報
発行人/理事長 馬場信雄
〒475-0836 半田市青山5-2-14

TEL/FAX:0569-24-4324
http://www.akarenga-handa.jp
E-mail:redbrickhanda@yahoo.co.jp

NEWS目次

- 01 納屋橋ナヤマルシェへ参加
- 02 COA 新入生見学会実施
- 03 端午の節句「紙兜折り体験」
- 04 ほとり酒場
- 05 赤煉瓦探検隊まちめぐり
- 06 平成30年度定時総会開催!
- 07 カプトビールフェスタ 2019

今後の事業計画

- ① 2019 特別展「盛田善平展」
- ② ほとり酒場(10/4、5)
- ③ ドイツフェスティバル
(10/12~14)
- ④ 赤煉瓦ネットワーク岸和田×泉州大会
(11/9~10)

NEWS 01

納屋橋ナヤマルシェへ参加

4月20日(土)に、恒例の開催イベント「名古屋納屋橋ナヤマルシェ」へ馬場理事長はじめメンバー数人で応援参加してきました。今年も納屋橋西



側の広小路通りに、フード・ビール・小物・衣類など素敵なマルシェが立ち並び、多くのお客様が行き交う賑

やかなイベントです。

私たちは、もちろん生カプトビール販売を中心にお手伝いをしましたが、今年はDJブースが設置され、ライブアトラクションで軽やかな曲が流れる中、お友達でしょうか?サプライズ!!で結婚式のセレモニーも飛び出す一幕もありました。歩道を埋め尽くすかのように人だかりとなり、行き交う皆さんにも祝福され、粋な計らいに幸せそうでした。また、カプトビールで乾杯もしていただき、華を添えていただきました。また、TOWILOのジョン君による「カプトビールの歌」が始まると最高潮の盛り上がりを見せました。名古屋での認知度も少しずつ広がりを見せ、名古屋支店を中心に話題となりつつある様子が伝わってきています。ますます賑やかに・次

回も皆さんでナヤマルシェへ参加し、多くの方に赤レンガ建物やカプトビールの存在や物語を伝え発信して行きましょう(左右木記)

NEWS 02

COA 新入生見学会と懇親会

4月28日(日)、半田赤レンガ建物にて日本福祉大学半田赤レンガ建物保存活用委員会(COA)の新入研修が行われました。春のドイツ祭とマルシェで



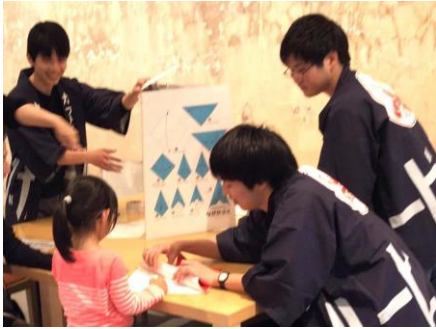
賑わうなか、新1年生11名が馬場理事長と小林理事から館内と常設展示の詳細な説明を受け、産業遺産・建

築物・戦争遺跡としての半田赤レンガ建物の意義を学びました。見学の後は、カフェ・ブリックにて懇親会。花原COA副委員長の司会のもと、新人全員から初めて訪れた半田赤レンガ建物についての感想や抱負を聞くことができました。現役の先輩やOBも新人への期待を熱く語り、副館長や理事も励ましの言葉をおくって和やかな時間を過ごしました。若い力の今後の活躍が期待されます。(中野記)

■NEWS 03

端午の節句 “紙兜折り体験”

5月3日、4日の2日間、半田赤レンガ建物の企



画展示室で主に子供さんを対象とする“紙兜折り体験”コーナーを設けました。私が子供の頃には、新聞紙

で作ったことを懐かしく思いましたが、昨年からは赤と黒の光沢ある紙で作る兜にしました。

幼児～低学年が大変興味深く作ってもらいました。指導に当たってくれた日本福祉大学COAメンバー（半田赤レンガ建物保存活用委員会）は、細かな説明をし、会話をしながら子供たちを笑顔にしてくれたことに感動しました。

さて、皆さんカプトビールのカプトの名前はどこから来ているのかご存じですか？

実は2説あります。1説目は、ビール、日本酒などを喉で勢い良く飲むことを[かぶる]と言い、そこから「カプト」という名称になった説と、2説目は日清戦争（1887年明治31年）に勝って国民が浮かれていた時、国民への戒めの言葉として「勝って兜の緒をしめよ！」という言葉から「カプト」という名称になった説がありますが、「勝って兜の緒をしめよ！」が有力説とされています。（小林記）

■NEWS 04

半田運河「ほとり酒場」へ出店

半田運河のほとりで、呑んで、笑って、語ろうをコンセプトに開催された、2晩限りの小粋な『HOTORI SAKABA』が、昨年11月22日・23日に引き続き、薫風爽やかな5月3日・4日、歴史ある半田運河のほとりにや中荻半六庭園周辺をベースに再登場しました。

今回は、カプトビールをメインに、知多半島の日本酒、クラフトビール、知多ハイボールで乾杯！酒の肴は、半田運河周辺のお店から出前をしてもらう事ができ、ご来場者からは大変ご好評をいただきました。運河周辺が幻想的にライトアップされ、昼間とは全く違った趣が醸し出され、種類の違うお酒を、友達や恋人同士で酌み交わすのには、最高の場

所となりました。次回は10月4日・5日に開催予定です。（榊原記）

■NEWS 05

赤煉瓦探検隊まちめぐり実施！

平成最後の4月13日から令和最初の5月6日



まで、半田赤レンガ建物にて赤レンガ探検隊パネル展「半田の赤レンガ建物たち」を開催しました。今年はG

Wが10連休だったこともあり、期間中には32,027名の来場者をお迎えしました。

同時開催企画として5月5日(日)に「赤レンガ探検隊まちめぐり」を実施しました。午前と午後の2回行い30名（一般参



加者5名)の方が参加、五月晴れのもとJR武豊線阿久比川橋梁をはじめ半六庭園、

見頃を迎えた小栗家住宅のモッコウバラを愛で、自由見学が出来るMIMを堪能して、中荻家住宅・新



美眼科医院など半田の見所を、赤レンガをテーマに見て回りました。

今回の企画では、赤レンガをテーマに

半田の観光スポットをめぐることで、半田には半田赤レンガ建物だけではなく、半田の近代化に貢献した数々の赤レンガ建造物があることを、参加者の皆さんに広く知っていただくことが出来ました。お天気にも恵まれ、爽やかに充実した1日でした。

（宮原記）

■NEWS 06

平成 30 年度定時総会開催!

6月22日、半田赤レンガ建物にて倶楽部総会が開催されました。第1・2号議案では「妻木頼黄のすべてをたどる!」特別展、カプトビール・アサヒビール・エビスビールのビアホールを再現した



カプトビールフェスタ2018、半田赤レンガの建物120歳誕生会では記念式典・

記念講演と祝賀会で120歳のケーキカットでお祝いなどなど、120歳の記念の年に相応しい平成30年度の事業報告と会計報告が承認されました。

第3・4号議案では、「半田赤レンガ建物及びカプトビールの本来の価値、魅力」を大きく顕在化させる基本方針を掲げ、盛田善平展、ドイツフェスティバルなど



倶楽部らしい、倶楽部だから出来る令和元年度の事業計画案と予算案が提案され

れご承認をいただきました。ご来賓に榊原市長・滝本市民経済部長・竹内観光課長にご臨席いただき、倶楽部への期待の高さを感じられます。総会後は恒例のカプトビールで懇親会、皆さんの半田赤レンガ建物への想いを語りました。(平岡記)

■NEWS 07

カプトビールフェスタ2019開催!



カプトビールフェスタ2019が7月13日(土)・14日(日)・15日(月祝)に半田赤レンガ建物で開催されました。

昨年は、日中うだる猛暑でスタッフもお客様も大変な思いをしましたので、今年は思い切って少し日が傾く夕刻から開催することにしました。

しかしながら、「なかなかうまくいきませんね〜」今年は梅雨明けが遅くなり、残念ながら雨模様の中のカプトビールフェスタとなりました。これでは昨年同様朝の10時から開催した方が良かったかな?

今回のスペシャルゲスト〜なんと



と遠路遙々、北九州市門司より門司赤煉瓦倶楽部の竹中事務局長をはじめ精鋭4名がサクラビール・小倉焼きうどん・各種お土産を引下げ、荷物満載で駆けつけ参戦してくれました。以前サクラビールは、一度1年間限定で復刻販売をして大変話題となりました。そして、今年改めて再復刻販売となることを聞きつけた馬場理事長から門司赤煉瓦倶楽部の竹中事務局長へ連絡をし、是非「夢の復刻ビール対



決」をしたいと申し入れたところ、敵に不足はないとのことと、実現することになりました。『東のカプトビール VS 西のサクラビール〜夢の復刻ビール対決』と題しまして、素敵なシチュエーションが整いました。

朝からやる気満々でしたが、お天気には勝てません。思いのほか売りに響いてしまって、門司の皆様には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

ステージでは、納屋橋から加富登麦酒名古屋支店

チーム「ディスク&ジョン」が駆けつけてくれDJパフォーマンスとカプトビールの歌を熱唱



し、最高に盛り上がりました。お客様にも情熱が伝わったのではないのでしょうか…合いの手も徐々に

■ 定 款 (抄)

【法人の名称】

一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

【目 的】

当法人は、貴重な旧カプトビール工場の半田赤レンガ建物及び旺盛な起業家精神を顕彰するとともに、後世に引き継ぎ、それを活かしたまちづくりに関する事業を行うとともに、赤煉瓦に関するネットワークと連携し、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【会 費】

(1) 入会金 1,000 円

(2) 年会費

① 個人会員 2,000 円

② 法人・団体会員 10,000 円
(団体は 10 名以上)

③ ボランティア会員 無料

【活動年度】

毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

総会は、毎年 1 回開催する

【運 営】

当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

(1) 理事 5 人以上

(2) 監事 1 人以上

理事のうち、一人を理事長、2 人を副理事長とする。

【事業年度】

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの年 1 期とする。

【年会費振込先】

知多信用金庫本店営業部

普通 0554403

(社) 赤煉瓦倶楽部半田

■ 編集後記

令和 2 年 4 月から 5 年間の指定管理者選考が行なわれています。今号が皆さんの手元に到着する頃には決定していると思います。しかし、どの指定管理者であれ、当倶楽部の活動内容は一切変わりません。定款の目的事項を達成するために、ただひたすらに愚直に、倶楽部だから・倶楽部らしい活動を進めていく所存です。今年最大の事業は 10 月開催予定のドイツフェスティバルです。「本格・本物ドイツフェスティバル」を開催します。オープニングにドイツ国総領事館首席領事の出席が決まりました。中部地区で初めての本格ドイツフェスティバル、ドイツといえば半田赤レンガ建物と言われるように長期を展望して進めていきたいと思ひます。(NB)

うまくなりノリノリなステージでした。いつもありがとうございます。



そんなこんなで悲しいお天気でしたが、こうして素敵な仲間と交流や情報交換が出来たことが大変う

れしく思い、幸せな 3 日間となりました。

これからも、カプトビールフェスタで素敵なお客様や仲間と交流し、誇りある文化発信をますます元気にやっていこうと新たに決意をしました。皆さま、お疲れ様でした。(左右木記)

今後の事業計画

【1】2019 特別展「盛田善平のすべてをたどる！」

■日時:令和元年 9 月 22 日(日)～10 月 17 日(木)

■場所:半田赤レンガ建物(企画展示実)

【2】ドイツフェスティバル

■日時:令和元年 10 月 12 日(土)～10 月 14 日(月)

■場所:半田赤レンガ建物全館

■後援:ドイツ総領事館、日独協会、南山大学、ルフトハンザ航空

■内容:本格的なドイツの音楽・文化及び食のフェスティバルを開催。数島製パン、神戸フロインドリーブ出店。

【3】赤煉瓦ネットワーク岸和田×泉州大会

■日時:令和元年 11 月 9 日(土)～11 月 10 日(月)

■場所:半田赤レンガ建物全館

■後援:ドイツ総領事館、日独協会、南山大学、ルフトハンザ航空

■内容:本格的なドイツの音楽・文化及び食のフェスティバルを開催。数島製パン、神戸フロインドリーブ出店。